

■ 第3回策定委員会 要旨

■日 時：平成29年2月27日（月） 13:30～15:00

■場 所：小国町役場 会議室

■出席者：

【策定委員】

教育長	遠藤 啓司（委員長代理）
会計管理者	山口 英明
総務企画課長	後藤 和人
健康福祉課長	原田 千鶴子
産業振興課長	齋藤 勉
地域整備課長	井上 伊勢男
建設技術主幹	菅野 享一
包括ケア推進監	阿部 英明
介護老人保健施設事務長	木村 広英
議会事務局長	舟山 博
教育振興課長	加藤 康浩

【総務企画課】

企画財政主幹	佐藤 友春
政策企画担当係長	廣瀬 孝徳
主任	渡部 寿郎
主事	蛭原 紘子

【業務委託】

水野 紀秀（㈱シンクタンクみらい 取締役・主席研究員）

■資料説明（基本計画（素案）について）

- （1）1月26日開催の合同会議討議要旨について
- （2）次期総合センター整備基本計画（素案）について

■討議要旨

- 1) 第3回ワークショップの結果について（P7～P13）
（特に意見なし）

- 2) 基本理念の解説について（P15）

委員：①基本理念の解説では、現センター建設の背景との相違が明確になった。

②「ブナ文化」は過去の検討の経緯から「ぶな文化」との平仮名表記とすべ

き。

③過去に検討した「ぶな文化館」の概念もふまえて検討して欲しい。

3) 施設整備方針について (P27～P34)

委員：「図書館」と「図書室」、あるいは「図書館（図書室）」との表記があるが、違いはあるのか。

委員：「ギャラリー」については、単なる展示スペースにするのか、人員配置まで行うのかの機能分担を図る必要がある。町の施設としての展示を行うのであれば、展示テーマも含め「小国らしさ」のある資料の選別も求められるであろう。

委員：キッズスペースのニーズは高いが、次期総合センターに現在のおぐに保育園で行っている「子育て支援センター」の機能を移設して置くことは検討できないか。

4) 施設の管理・運営について (P38～P45)

委員：①管理運営上の課題として、「山の暮らし伝承創造機構」が直ちに管理運営を行うとの前提ではないことから、管理運営の主体を明らかにする必要があるのではないか。29年度から人財育成も含めて着手する必要がある、スケジュールを示して欲しい。

②財源の確保については、過疎債が中心になるであろうが、地方創生戦略も含め既存の制度も活用できるような仕組みの整理は必要。

委員：庁内にはかつて「先端山村研究所」という組織があり、町の職員が事務局を兼ねて町からの委託事業を行っていた経緯がある。今回もスタート時点はやむを得ないが、次の段階の運営主体の確立に向けて、様々な人財ネットワークの構築等を配慮してもらいたい。

5) その他

委員：新潟山形連絡道路は来年くらいにルートが決定する。都市計画法に基づく都市計画の変更も必要になると考えられる。

委員：ワークショップでも意見が出された「調理室」については、「食文化」を継承するとの観点から前向きに整備を検討していただきたい。また、計画書の中で「人材」と表現されているが、かねてから庁内では「人財」と表現するこ

とで了解が得られていたはずである。